

研究・研修報告書

令和 8 年 8 月 7 日

小牧市議会

議長 舟橋 秀和 様

小牧市議会 無会派

清水 隆宏

下記の通り研究・研修を行いましたので、その結果を報告します。

記

1 日程

令和 8 年 7 月 2 9 日（水）

＊当日不参加（資料・動画データ後日郵送）

2 研修会場

リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿 7－2 1－3）

3 研修名

新人議員研修全国キャラバン

4 主催者・講師

地方議員研究会 川本 達志 氏
（元廿日市市副市長・元広島県職員）

5 参加者

清水 隆宏

6 受講の目的

新人議員として、地方議会に求められる役割や二元代表制の本質を改めて理解するとともに、行政を動かす一般質問の組み立て方、地方財政の分析手法、防災行政の考え方について学び、政策提言能力の向上を図ることを目的として受講した。

7 研修内容の概要

（１）地方議会の役割と二元代表制

地方自治体では、首長と議会がそれぞれ住民から直接選ばれる二元代表制を採用している。議会は行政を承認する機関ではなく、住民の代表として政策を提案し、行政を監視・評価する役割を担うことが重要であることを学んだ。また、議会が本来の機能を発揮することで自治体経営そのものが改善され、住民自治の実現につながるという考え方について理解を深めた。

（２）役所を動かす一般質問

一般質問は行政を批判するためではなく、市民生活をより良くするための政策提案の場であることが強調された。

効果的な質問を行うためには、

- ・ 現状把握
- ・ 課題の分析
- ・ 法令や計画を根拠とした論点整理
- ・ 実現可能な改善策の提示

という流れを意識することが重要である。

また、行政の答弁を引き出すだけでなく、その後の施策へ結び付ける質問構成の考え方について具体例を交えながら学んだ。

（３）地方財政の見方

地方財政では、財政指標の数値だけを見るのではなく、その背景や要因を分析する視点が必要であることを学んだ。特に、「経常収支比率、基金残高、公債費、実質公債費比率、将来負担比率」などの指標について、それぞれの意味や読み取り方について説明があった。さらに、予算や決算書だけではなく、決算カードや各種統計データを活用することで、各自治体における特徴や課題を客観的に把握できることを学んだ。

（４）地方議員に求められる能力

講師自身が広島県職員、副市長、民間コンサルタントとして培った経験を基に、地方議員には行政制度を理解し、データや根拠をもって政策提案を行う能力が求められることが説明された。行政との対立を目的とするのではなく、市民の利益を第一に考え、建設的な議論を積み重ねることが議会改革につながるとの考えが示された。

8 所管

今回の研修では、一般質問は単に質問することが目的ではなく、市民の課題を解決するための政策提案であるということを改めて認識した。

また、地方財政についても数字だけを見るのではなく、その背景や将来への影響まで考察する視点の重要性を学んだ。今後は決算カードや各種統計データを積極的に活用し、小牧市の財政状況を客観的に分析した上で政策提言に繋げていきたい。

今回の研修で学んだ内容を今後の一般質問や委員会活動、政策立案に活かし、行政との建設的な議論を通じて、市民の福祉の増進につながる議員活動を実践していきたい。